

2023 年度
(令和 5 年度)

事業報告書

社会福祉法人 東京有隣会

2023 年度 法人事業報告書

理 事 評議員	理事長 奥 典之 業務執行理事 藤田 宜是 業務執行理事 萩原 賢一 理事 板垣 正幸 理事 川上 雪彦 理事 飯田 育代 理事 明石 眞弓 理事 宮川 正秀 監事 井口 博 監事 三井 岳	評議員 岩崎 雄大 評議員 杉村 栄一 評議員 玉川 寿夫 評議員 三枝 健二 評議員 白石 弥生子 評議員 田尻 康 評議員 長岡 光春 評議員 吉川 恵章 評議員 安藤 秀彦 評議員 横山 宏
辞任退任 理 事 評議員	業務執行理事 工藤 宏一郎 業務執行理事 古閑 学 理事 樋口 輝彦 理事 小西 敏郎 理事 細谷 洋 監事 銅谷 勝子 監事 吉川 洋志	評議員 岡本 達二 評議員 田邊 茂男
理事会	第 265 回 2023 年 6 月 2 日（有隣ホーム 中会議室） 第 1 号議案 2022 年度 事業報告・決算承認の件 及び社会福祉充実残高承認の件 第 2 号議案 理事及び監事 選任の件 第 3 号議案 評議員辞任に伴う補充候補者選任の件 第 4 号議案 評議員選任解任委員会開催の件 第 5 号議案 定款第 26 条第 2 項に基づく理事会招集理事選任の件 第 6 号議案 評議員会 開催の件 報告事項 1 理事長報告 報告事項 2 理事会、評議員会スケジュール 第 266 回 2023 年 6 月 23 日（有隣ホーム 中会議室） 第 1 号議案 理事長 互選の件 第 2 号議案 業務執行理事 選任の件 第 3 号議案 評議員選任解任委員 選任の件 第 4 号議案 理事会承認役職者 承認の件 第 5 号議案 厨房設備入札結果報告及び契約承認の件 第 267 回 2023 年 8 月 17 日（WEB 会議） 第 1 号議案 有隣ホーム 施設長選任の件 報告事項 1 新棟建設工事 物価高騰の協議について 第 268 回 2023 年 12 月 8 日（有隣ホーム 中会議室） 第 1 号議案 工事変更契約の件 第 2 号議案 第 2 有隣ホーム 見守りシステム導入契約の件 第 3 号議案 有隣病院 電子カルテ導入契約の件 第 4 号議案 定年延長検討委員会 設置の件 第 5 号議案 評議員会 開催の件 報告事項 1 理事長報告・業務執行理事報告 報告事項 2 中期計画経過報告・上期決算報告 報告事項 3 建築進捗報告（物価高騰協議含む）	

	報告事項 4 理事会、評議員会スケジュール 第 269 回 2024 年 3 月 8 日（有隣ホーム 中会議室） 第 1 号議案 2023 年度 補正予算承認の件 第 2 号議案 2024 年度 事業計画・予算承認の件 第 3 号議案 有隣病院 就業規則改訂の件 第 4 号議案 有隣病院 定年後職員就業規則改訂の件 第 5 号議案 介護施設 定年後職員就業規則改訂の件 第 6 号議案 経理規程 改定の件 第 7 号議案 介護施設 運営規程改訂の件 第 8 号議案 理事解任の件 第 9 号議案 評議員会 決議事項の件 報告事項 1 理事長報告・業務執行理事報告 報告事項 2 法人ロゴマーク 職員選考の経過報告 報告事項 3 理事会、評議員会スケジュール
評議員会	第 80 回 2023 年 6 月 23 日（有隣ホーム ホール） 第 1 号議案 2022 年度事業報告・決算承認の件 及び社会福祉充実残高承認の件 第 2 号議案 理事及び監事 選任の件 報告議案 1 理事長報告 報告議案 2 理事会・評議員会スケジュール 第 81 回 2024 年 3 月 22 日（有隣ホーム 中会議室） 第 1 号議案 理事 1 名 解任の件 報告議案 1 理事長・業務執行理事報告 報告議案 2 2023 年度 補正予算報告 報告議案 3 2024 年度 事業計画・予算報告 報告議案 4 建設の経過報告 報告議案 5 理事会・評議員会スケジュール
評議員 選任解任 委員会	第 9 回 2023 年 4 月 27 日（WEB 開催） 第 1 号議案 評議員選任の件 第 10 回 2023 年 6 月 12 日（WEB 開催） 第 1 号議案 評議員選任の件
主な 事業経過	法人監査 2023 年 5 月 19 日 会計監査 2023 年 5 月 23 日 監事監査 東京有隣会研究発表会 2024 年 2 月 14 日 開催 新型コロナウイルス感染症対策本部会議 毎月第 2.4 月曜日 開催 新棟建設作業部会 毎月第 4 木曜日 開催
危機管理	法人 BCP 策定、交通事故対応、各種ハラスメント対応
表 彰	2023 年 5 月 18 日 2023 年度永年勤続職員表彰 （有隣病院 5 名、第 2 有隣ホーム 2 名）

2023年度 有隣ホーム事業報告書

中長期計画及び2023年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

1. 中長期計画

(1) 法人各施設との連携強化

- ・ ICT会議において、新型コロナ感染症、インフルエンザ、麻疹等に関する情報共有をし、感染に対する対応ができた。
- ・ 下期から設けられた施設間連携会議で各施設間の情報共有を行うことができ、入院・退院が今まで以上にスムーズに行えるようになった。

(2) 人材の育成、介護現場の業務改善

- ・ 上期から下期にかけて職員の退職が多く出たため、人員体制のバランスが崩れ計画的な研修等ができなかった。
- ・ あらゆる職種で人員不足の状態となったため、採用に苦慮した。
- ・ 育成については、ほぼ施設内研修の受講にとどまった。
- ・ 他施設との協定を締結し、意見交換の場を設けることができた。
- ・ 定期的な虐待の芽チェックリストの考査を重ね、データ分析を行った。

(3) 防災・事故等の対策と徹底

- ・ 定例のBCP会議の開催で自施設だけでなく法人全体としての計画を検討した。
- ・ 介護事故については、原因究明のため事故直後、速やかに検証を行い、防止策の検討と再発防止策の確認を行った。

2. 2023年度事業計画

(1) サービス計画

①生活全般

- ・ 多数の退職者により人員体制が厳しくなったため、業務内容を見直しながらサービスを確保した。
- ・ フロア業務の体制を担当エリアだけでなく、できるだけお互いに協力できるよう進めた。
- ・ 各居室、トイレなどの整理整頓を行い、環境衛生に努めた。

②健康管理

- ・ 併設病院ICTチームとの連携・コロナ対策本部会議により新型コロナウイルス等の入居者感染は最小限にとどめることが出来た。
- ・ 訪問歯科の指示連携により、口腔内の衛生と職機能の維持向上に努めた。
- ・ 看取りケアの充実のため、ご家族の意向を大切に、職種間の連携に努めた。

③給食管理

- ・ 栄養マネジメント強化による利用者の食事・栄養の接種を他職種と連携し行った。
- ・ フロアとの連携を密に行い、利用者に合わせた食形態による提供をした。
- ・ 衛生管理において経年による不具合等があった食器洗浄機を更新した。

(2) 組織運営

- ・ 稼働率の向上を図ったが、利用者の退所が予想以上に多く出たため、なかなか難しかった。
- ・ 入所者の長期入院等による退所が多く、稼働率低下があったが年度末回復に向うことができた。
- ・ 人員体制の適正化を目指したが、退職者と採用のバランスが取れず体制確保に苦慮した。

(3) 設備計画

- ・ 不具合の多く出ていた給湯機(ボイラー)を補助金を活用して更新ができた。
- ・ 経年劣化の食器洗浄機の更新を行った。

(4) 危機管理

①防災・事故対策

- ・ 来年度から義務化されるBCP等に向けて、準備と内容の再確認を行った。
- ・ 9月の防災の日において有隣病院の防災訓練に参加協力をした。
- ・ 地域自治会等の防災イベントに参加、協力をした。

②緊急時対応

- ・ SECOM安否確認の整備をおこなった。
- ・ BCP計画に添い非常食等の備蓄管理内容を見直した。

(5) 業務改善

- ・ 委員会などの体制、実施内容等の見直しを行い、体制整備の基盤づくりを行った。
- ・ 情報共有のためLINE WORKSの活用を進めたが有効活用までには至らなかった。

(6) 職員計画

①人材育成

- ・ 退職者が多数出たため、人員確保と体制づくりに苦慮し、多くの時間を費やしたがまだ充足で

きず、体制を整えられない状況が続いている。

- ・派遣職員の活用については、費用的バランスを検討し効率の良い利用に留めた。
- ・なるべく採用費用を抑えていたが求人に対する応募が無いため、費用をかけざるを得ない状況となった。

②研修計画

- ・公益財団法人 介護労働安定センターに研修計画作成及び法定研修実施のコーディネートを委託し、しっかりとした研修を実施した。
また研修講師が現場に入り、改善点等の指導を仰いだ。
- ・新年度義務化される研修等の準備、確認を行った。

<2023年度の事業活動総括>

- ・4年間続く赤字収支の脱却を図るため、稼働率の回復と経費節減・人員体制の的確化を行った。
- ・さまざまな業務の取り決めや流れに統一感が無くなっている現場をまとめるため、フロアミーティングやリーダー層の業務内容の見直しや確認を行った。

1. 月別入退所状況

(人)

	新入所	退所	月末現在	延人数	1日平均
4月	1	4	91	2,817	93.9
5月	4	0	95	2,883	93.0
6月	1	1	95	2,851	95.0
7月	2	2	95	2,951	95.2
8月	1	2	94	2,908	93.8
9月	1	0	95	2,836	94.5
10月	2	5	92	2,925	94.4
11月	5	2	95	2,783	92.8
12月	5	2	98	2,957	95.4
1月	2	3	97	3,012	97.2
2月	0	2	95	2,785	96.0
3月	3	4	94	2,956	95.4
計	27	27		34,664	94.7

2. 入退所者の内訳

(人)

新規入所者()は再入所					
内訳	自宅から	病院から	老健施設	その他	計
男	2	4(2)	0	1	7 (2)
女	3	6(2)	6	5	20 (2)
計	5	10(4)	6	6	27 (4)
開設以来					
累計	—	—	—	—	2,488

退所者						
内訳	死亡	長期入院	家族引取	自主退所	他の施設	計
男	4	3	0	0	0	7
女	14	6	0	0	0	20
計	18	9	0	0	0	27
開設以来						
累計	793	1,549	1	0	0	2,343

3. 入所期間

(人)

期 間	男	女	計
1年未満	3	18	21
1年以上～2年未満	2	19	21
2年以上～3年未満	5	10	15
3年以上～5年未満	1	11	12
5年以上10年未満	0	12	12
10年以上～15年未満	2	10	12
15年以上～20年未満	0	1	1
20年以上	0	0	0
計	13	81	94

平均入所年数:2.9年

4. 年齢構成

(人)

年 齢 階 層	男	女	計	%
65歳未満	1	0	1	1.1%
65歳～69歳	0	1	1	1.1%
70歳～74歳	1	0	1	1.1%
75歳～79歳	2	5	7	7.4%
80歳～84歳	3	18	21	22.3%
85歳～89歳	2	21	23	24.5%
90歳～94歳	4	25	29	30.8%
95歳～99歳	0	11	11	11.7%
100歳以上	0	0	0	0.0%
計	13	81	94	100.0%
最年少	54	66	—	—
最高齢	93	99	—	—
平均年齢	82.8	87.8	87.1	—

5. 要介護度

種類	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
要支援 1	0	0	0	0.0%
要支援 2	0	0	0	0.0%
要介護 1	0	0	0	0.0%
要介護 2	0	0	0	0.0%
要介護 3	0	9	9	9.6%
要介護 4	8	27	35	37.2%
要介護 5	5	45	50	53.2%
合 計	13	81	94	100.0%

※平均要介護度:4.4

6. 入所者の心身の状況

「障害老人の自立度判定基準」による

自立度	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
J1	0	0	0	0.0%
J2	0	0	0	0.0%
A1	0	3	3	3.2%
A2	1	5	6	6.4%
B1	2	16	18	19.1%
B2	5	26	31	33.0%
C1	1	4	5	5.3%
C2	4	27	31	33.0%
計	13	81	94	100.0%

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

自立度	男	女	計	%
なし	3	3	6	6.4%
I	3	3	6	6.4%
Ⅱa	1	8	9	9.6%
Ⅱb	2	19	21	22.3%
Ⅲa	1	19	20	21.3%
Ⅲb	1	10	11	11.7%
Ⅳ	2	17	19	20.2%
M	0	2	2	2.1%
計	13	81	94	100.0%

7. 面会

面会回数	人数	%
200回以上	0	0.0%
100回以上	0	0.0%
50回～99回	0	0.0%
20回～49回	16	14.0%
10回～19回	23	20.2%
5回～9回	25	21.9%
1回～4回	35	30.7%
なし	15	13.2%
計	114	100.0%

8. 外出

外出回数	人数
20回以上	0
15回以上	0
10回以上	1
5回以上	2
5回未満	8
計	11

9. 外泊

年間延日数	人数	回数	人数
50日以上	0	10回以上	0
20日～49日	0	5回～9回	0
10日～19日	0	5回未満	0
5日～9日	0		
5日未満	0		
計	0	計	0

10. 行事

年 間	行事
4月	誕生会 お花見散歩
5月	誕生会
6月	誕生会
7月	誕生会
8月	誕生会
9月	誕生会 敬老祝賀会
10月	誕生会
11月	誕生会
12月	誕生会 冬至ゆず湯
1月	誕生会 新年祝賀会
2月	誕生会
3月	誕生会 ひな祭り

* 行事食は毎月実施

11. クラブ・余暇活動等

名称	参加者	実施日
まほの会(読み聞かせ)	52名	6/14、7/26、9/15、10/11、11/8
訪問理美容(任意)	313名	月2回

12. 食事

(1) 食事形態

食 事 形 態		人数
常 食 (ごはん)	副食普通	22
	副食刻み	0
軟 食 (全粥)	副食普通	6
	副食刻み	40
	副食ミキサー	0
ミキサー食		17
特別食	流動食	0
	ゼリー食	7
	糖尿食	0
経管栄養		1
計		93

(2) 食品構成による一人当たり栄養給与量

項 目		栄養基準量	実栄養 給与量(平 均)
エネルギー		1400 kcal	1431 kcal
蛋白質		55.0 g	59.4 g
脂質		40.0 g	42.8 g
炭水化物		215.0 g	212.6 g
無機質	カルシウム	680 mg	789 mg
	鉄	7.0 mg	7.79 mg
	カリウム	2000 mg	1861 mg
	A(レチノール当量)	700 μg	704 μg
ビタミン	B1	1.00 mg	1.10 mg
	B2	1.10 mg	1.13 mg
	C	100 mg	115 mg

日本人の食事摂取基準策定に基づき基準量を定める

- (3) 栄養ケア・マネジメントの実施
- (4) 食事摂取状況及び嗜好の把握
- ・嗜好調査＝実施予定、個別に随時
 - ・残菜調査＝毎食
- (5) 管理栄養士・調理員による喫食状況の把握
- (6) 潤いのある食事の提供
- ・行事食＝12回、誕生会12回
- (7) O-157及びノロウイルス等感染症対策
- ・衛生管理の徹底、大量調理マニュアルに基づいた衛生管理
- (8) 食事の質の向上

13. 健康管理

(1) 併設病院の協力により、緊急時の早期対応・治療に努めた

- ・インフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの予防接種に努め、2023年度はインフルエンザの感染報告数は「ゼロ」となった
- ・便通調整は、医師の指示に基づき個人に合った投薬、浣腸、排便を実施した
- ・医師の指示に基づいた治療食と、適切な時期に食形態の検討を医師・CW・栄養・歯科と連携して行うことができ、経口摂取の維持継続に努めた
- ・ICTの指示のもと新型コロナ感染症拡大防止に引き続き努めるも、感染者が出てしまったが外部施設への入所・外部病院への入院など適切に対応した

(2) 健康診断

- ・特定健診、長寿健診の実施
- ・肺がん検診、大腸がん検診の実施(希望者のみ)
- ・週3回嘱託医の診療時必要な検査(採血・検尿・X-P・心電図・CT・点滴)の実施

(3) 生活管理

- ・経管栄養実施者が、1名(胃瘻)
- ・在宅酸素療法実施者は3名であったが、年度途中で0となる

(4) 診察(健診含む)

嘱託医(内科)、協力病院(有隣病院)										計	他医療機関										計	
診療科目	内科	外科	整形	形成外科	眼科	精神科	皮膚科	歯科	泌尿器		神経内科	婦人科	整形	脳外科	眼科	内科	精神科	耳鼻科	歯科	泌尿器		救急
受診日等	週3回と必要時	無	週4回	週1回	無	週1回	週2回	無	月2回		週1回	必要時										
実人数	119	0	21	30	0	14	47	0	1	9	241	1	5	1	6	3	0	0	95	1	0	112
延人数	2,811	0	39	106	0	107	178	0	1	190	3,432	1	3	1	20	3	0	0	379	3	0	410

(5)新規入所時の病名

病 名	人数
認知症	10
脳梗塞	2
心疾患	2
呼吸器疾患	2
パーキンソン病	1
急性硬膜下血腫	1
頭蓋底腫瘍	1
乳房石灰化	1
骨粗鬆症	1
その他	5

(6)入院時の病名

主病名	男	女	計
コロナ感染症	1	1	2
誤嚥性肺炎	1	3	4
経口摂取困難	0	2	2
発熱	2	5	7
大腿骨骨折	0	1	1
脳梗塞	1	1	2
その他	0	4	4

(7)死亡原因(在籍中の死亡退所者)

病 名	男	女	計
経口摂取困難	0	1	1
老衰	1	4	5
心不全	1	2	3
その他	3	7	10
計	5	14	19
内看取りケア	2	10	12

(8)入院、退院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	0	0	3	0	3	4	4	2	4	1	1	22
退院	0	1	0	2	0	3	2	2	1	2	2	1	16

II. 地域交流

1. ボランティア受入

[illegible]

2. 訪問

所 属 名 称
コロナ禍の影響により中止

3. 体験学習

学校、団体等名称
コロナ禍の影響により中止

4. 実習、研修

学校、団体等名称	延人数
AS教育センター	9
計	9

5. 見学・その他

項目	備考
新規入所 事前説明	45
入所希望相談	随時受付

Ⅲ. ショートステイ事業

空床利用につき、2023年度は実績なし

Ⅳ. 研修

1. 施設内研修

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数	備 考
ジョブメドレーアカデミー法定研修	4月1日～3月31日		全職員	web研修
高齢者虐待防止研修	4月19日、9月20日	2	23	
身体拘束排除取組研修	5月17日、3月13日	2	24	
感染症・食中毒予防及びまん延防止研修	6月21日、2月21日	2	20	
事故発生・再発防止研修	10月18日、11月15日	2	19	
認知症及び認知症ケア研修	12月20日	1	11	
褥瘡防止研修	1月17日	1	9	

2. 施設外研修

研修内容	参加者・人数
5/9虐待防止研修	1
安全対策担当者養成研修	1
5/12車椅子の基礎研修	1
5/25多職種連携をすすめるためのコミュニケーション技法研修	1
5/27ICT研修	2
6/19雇用保険・社会保険手続きに係る研修	1
6/29福祉従事者が学ぶクレーム対応研修	1
ユニットケア施設管理者研修	1
7/4成年後見セミナー	1
11/19栄養ケアマネジメント研修	1
令和6年2月食事療法・栄養管理に係る研修	2
令和6年3月ターミナル期の接触ケアの手法	1
令和6年3月摂食嚥下障害対応に係る研修	1

V. 会議

会議名	対象	実施回数	備考
職員会議	全職種	0	月次予定、連絡等
主任会議	施設長、生活相談員、各主任	1	基本処遇、職員指導等
衛生委員会	全職種	12	職員健康管理、安全管理の予防及び指導等
災害対策省エネ委員会	防災委員	0	防災訓練 防災指導 計画
リスクマネジメント委員会	施設長 危機管理室長 介護職	12	ヒヤリハット 事故報告書の集計 他
身体拘束・虐待防止・人権	介護主任 介護職	12	拘束廃止に向けての職員意識啓発
人材育成OJT	施設長 危機管理室長 介護職	0	新人職員研修 実習生受け入れ
感染対策委員会	生活相談員 介護職 看護師	12	感染防止及び対策等
入所検討委員会	生活相談員 全職種毎入所時に書面確認と委員会開催2回	12	新入所の状況 予定など
生活向上委員会	介護主任 介護職	0	利用者処遇の見直し 他
褥瘡予防委員会	全職種	0	褥瘡の予防 注意者の確認 など
ケアカンファレンス	介護支援専門員 介護職員 管理栄養士 看護師	36	ケアプラン見直し及び作成
第三者委員会	生活相談員 第三者委員	1	書面により開催

VI. 防災対策 防災訓練

月	訓練内容	消防署の 出向指導	参加者数	
			職員	利用者
4月	BCP計画及びマニュアルの見直し	無	3	0
5月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
6月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
7月	BCP計画及びマニュアルの見直し	無	3	0
8月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
9月	有隣病院との合同防災訓練	有	3	0
10月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
11月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
12月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
1月	BCP計画及びマニュアルの見直し	無	3	0
2月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0
3月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	3	0

※消火器・消火栓使用方法訓練は随時実施

※発電機点検、運転訓練は毎月実施

VI. 職員構成

職 種	運営規程 に基づく 配置数	常勤職員					非常勤職員			
		今年度当 初在籍者 *1	採用 *2	異動	退職 *3	次年度当 初 在籍者*4	今年度当 初在籍者 *1	採用 *2	退職 *3	次年度当 初 在籍者*4
施設長	1	1		1	1	1	0			0
施設長補佐		1			1	0	0			0
事務長		1		1		0	0			0
事務員		2	1		1	2	2			2
医師	1	0				0	1			1
機能訓練指導員	1	1				1	0			0
看護職員	3	2			1	1	5	1	3	3
（内 看護師）		(2)			(1)	(1)	(4)	(1)	(2)	(3)
介護職員	30	27	8	2	14	23	11	5	5	11
（内 介護福祉士）		(14)	(4)	(2)	(6)	(14)	(3)	(4)	(2)	(5)
生活相談員	1	1				1	0			0
介護支援専門員	1	1				1	0			0
（内 兼務）	(1)	(1)				(1)	(0)			(0)
栄養士	1	2				2	0			0
（内 管理栄養士）		(2)				(2)	(0)			(0)
調理員		1			1	0	7	2		9
宿直員		0				0	2	1		3
日直員		0				0	1			1
洗濯員		0				0	0			0
計(兼務除く)	39	40	9	4	19	32	29	9	8	30

* 1 今年度当初在籍者には4/1採用者を除く

* 2 今年度採用者は4/1～3/31の採用者（4/1採用者を含む）

* 3 今年度退職者は4/1～3/31の退職者（3/31の退職者を含む）

* 4 次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢＝46歳1ヶ月、平均勤続年数＝5年3ヶ月

非常勤の平均年齢＝58歳8ヶ月、平均勤続年数＝5年8ヶ月

年度末退職者
 常勤 名

 年度末退職者
 非常勤 名

2023 年度 ケアプランゆうりん 事業報告書

2023 年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

1. 地域福祉の推進

有隣病院からの相談には 9 割以上受け入れ、在宅復帰及び契約継続ができた。
他の医療機関からの相談は、看取りの受け入れができないことにより 1 件となったが、この 1 件についてサービス提供を継続している。

2. 地域との連携

船橋地区のあんしんすこやかセンターから、開設当初より多くの案件紹介があったため、今年度は船橋地区からの依頼で手一杯だった。
主任ケアマネジャー連絡会に参加し、研修の企画・運営、2024 年度の介護報酬改定その他の情報共有も実施した。

3. 支援の基本指針

利用者の個別性に応じた支援計画に意識して業務に従事している。
法人内事業所との連携について、受け持ち利用者のうち 9 名が訪問リハビリを活用しているが、このうち 6 名が当法人のサービスを利用している。
通所介護については、2023 年度は有隣病院の退院患者の受け入れが多かったため、退院と同時にリハビリを提供する必要があるなどの理由から 2 件の利用となった。
第 2 有隣ホームのショートステイ利用は 2 件だった。

4. 資質の向上

2023 年度は立ち上げ年度だったため研修に充てる時間を十分に捻出できなかったが、6 月に日本ケアマネジメント学会研究大会に 2 日間参加した。
その他、地区内ケアマネジャー向けに企画された研修に計 4 回参加した。

5. 経営基盤の構築

3 年後の黒字転換を目標とした 1 年目であったが、地域における認知度は高まったと考えている。他方、人員の増員はできなかったため、引き続き人材採用に力を入れ、3 年目の年度初めに 3 人体制が実現できるよう努力する。

6. 危機管理

災害時の利用者の安全確認について、連絡先リストを基に作成する予定であったが、生活の確保を含めた具体的な手順等を検討する時間が作れなかった。

【統計関係】

月末登録利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護	4	7	10	14	14	15	15	17	18	19	22	22
要支援	1	2	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3
合計	5	9	13	17	17	18	19	20	21	22	25	25

新規契約と終結

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規													
本人・家族			1	1						1			3
有隣病院	1	1	2		1		2	1	1		1		10
他の病院		1											1
あんすこ	4	2	1	3		1	2						13
その他											3	1	4
計	5	4	4	4	1	1	4	1	1	1	4	1	31
終結													
長期入院					1		1				1		3
入所												1	1
死亡													0
その他							2						2
計	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	1	1	6

2023年度 第2有隣ホーム事業報告書

中長期計画および2023年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

中長期計画

- (1) 関係機関との連携強化
 - ・主に医療対応、入退所の調整等で有隣病院との連携を強化した。
2024年2月に発生したコロナクラスター時には感染者の入院受け入れや施設内の感染拡大防止対策の助言等で有隣病院ICTと連携を図り、感染を最小限に留めた。
有隣ホームとの連携は事務方を中心に情報共有を強化し、業務標準化を進めた。
- (2) 人材の育成、介護現場の業務改善
 - ・WEB研修を中心に研修を実施し、外部講師の招聘や区の研修資源等も活用しながら職員のスキル向上と業務標準化を図った。業務改善は主に入浴介助業務の効率強化を図った。
 - ・有隣ホームとの連携において事務方を中心に情報共有を強化し、業務標準化を進めた。
 - ・主に見守りシステムを円滑に運用するため、関連委員会で協議し導入準備を進め、運用開始後はメーカーと連携し不具合等の調整について早期対応に取り組んだ。
- (3) 収支構造の健全化
 - ・年間稼働率はショートステイ利用率が改善し高い水準を保持した。新加算の取得は実施できなかったが、各費用を抑える事で支出を減少させ収支構造を健全化させた。
- (4) 新棟移転計画
 - ・ユニットケア関連の各研修を他法人との連携を含め実施した。新棟設備に関しては工事の進捗に沿って遅延なく決定し移転に向けて取り組んだ。家族懇談会にて利用者ご家族へ移転についてのご案内を行い、今後の引っ越しへ向けた個別協議を依頼した。
- (5) 防災・事故等の対策徹底
 - ・介護事故については見守りシステムの導入で、映像を確認する事により正確な原因が把握できる事で効果的な対策を講じる事ができるようになった。
防災に関してはBCP計画を完成させ、新たに新棟BCP計画作成に着手した。
- (6) ボランティア、地域との交流拡充
 - ・コロナ対応の緩和を受け、地域ボランティアの出入りが活性化し、新規ボランティアの受け入れ活動にも取り組んだ。
- (7) 建物改築対策
 - ・引き続き病院との連携による建物合築による取り組みを行った。

年度事業計画

サービス計画

1. 生活全般

- (1) 見守り機器導入により情報の質の強化や適切な対策等によりリスク管理を徹底した。
- (2) 標準予防対策や感染対策の意識付けポスターの掲示をし職員周知を図った。
毎月の感染症委員会で各対策の徹底の確認を実施した。
- (3) 職員によるレクリエーションだけではなく、利用者自身が行うピアノの会を支援し継続した。
- (4) 面会時間等の緩和により、ご家族とのコミュニケーションの機会が増えた。
12月 家族懇談会、2月 第3者委員会を実施した。
- (5) 介護ソフトや社内共有ツールを使用し迅速な情報共有を実施。遅延なく新規入所に繋げた。
- (6) 看取りケア介護の実施も増加し、体制の強化がされた。
- (7) 認知症ケアや虐待防止等の必要な法定研修を不足なく実施した。

2. 健康管理

- (1) 業務改善や歯科専門職と連携する事で、口腔ケアの実施回数を向上させた。
- (2) 多職種協働で利用者の生活リハビリを継続しADLの維持に努めた。
- (3) 利用者の体調不良の早期発見に努め、感染対応も含めた一時対応を強化した。
- (4) 看護師を中心に医療面の情報提供を行い、意思決定の支援を実施した。
- (5) 皮膚損傷や発赤等の早期発見に努め、早期の治療に繋げた。
- (6) 褥瘡対策委員会で褥瘡リスクのある方の情報共有や対策の協議を継続したが、褥瘡の新規発生は前年度よりも1名増加した。合計2名。

3. 給食管理

- (1) 食品衛生管理を徹底し食中毒の発生予防に努めた。
- (2) 毎月の栄養ケアマネジメントにより利用者の現状把握を行い、食事内容の改善を図った。
- (3) 行事食や郷土料理の提供を計画通り実施した。
- (4) 有隣ホームの管理栄養士と調理場の効率的な運用等について適宜情報交換を行い検討した。
- (5) 多職種で嚥下困難な利用者への食事提供品の検討を適宜実施した。

4. ショートステイ

- (1) 感染症の持ち込みを防止するため、入所時の検査を徹底したが、1件のみ検査をすり抜け感染拡大を招いた。
- (2) 外部ケアマネと連携し5件の緊急ショートの入入れを積極的に実施した。
- (3) 感染症対策のため、受け入れスキームは従来通りの方法を継続した。
- (4) 空床ベッド利用は年間で8件活用した。

設備計画

- (1) 社内共有ツールを活用し、情報の共有や委員会前の事前協議を一部促進させた。
- (2) 設備の導入については、すべてを新棟で活用する事を考慮して実施した。
- (3) 主に幹部会議等で新棟における設備関連の情報共有し、選定を実施した。
- (4) 特定技能外国人の介護記録ソフト利用も考慮した上で選定に向けて検討を重ねた。
- (5) 新しい入浴機器や見守りシステムを導入し、効率化へ向けた業務改善を推進した。

危機管理

1. 防災計画・事故対策

- (1) 有隣病院ICTの助言を得ながら、感染拡大に関しての対策を講じた。
- (2) 法人内BCP会議を毎月実施し防災計画を作成した。9月法人全体で自衛消防訓練を実施した。
- (3) 区の福祉避難所連絡会等に参加し、行政との連携を確認。一部避難所設営訓練も実施した。
- (4) 感染症・災害についてのBCP計画の練り直しを実施し次年度の訓練に向けた準備を行った。

2. 防犯計画

- (1) セコムの機械警備を利用し防犯対策に努め施設内の安全確保に努めた。

職員計画

1. 人材育成・研修計画

- (1) 基本理念や基本方針、権利擁護の徹底について常勤職員への説明を実施した。
- (2) 個別的にICTリテラシー教育を実施したが、計画通りの研修は実施できなかった。
- (3) 認知症介護実践者研修の応募はしたが抽選されず、修了者による研修は実施できなかった。
- (4) 区の助成金を活用し資格取得を促進。キャリア段位制度におけるレベル認定者2名輩出。
- (5) 今年度も法人内の研究発表会に参加し、入浴介助の取組み発表を実施した。
- (6) 階層別研修計画を一部更新したが、一部の内容しか研修実施はできなかった。

2. 職員計画

- (1) 昨年度と比較して介護職の退職は減少した（2022年度退職者4名、2023年度3名）が、計画通りに採用ができず、常に人員が不足している状況であった。紹介会社等を極力使用せず、コストを抑えた方法で採用活動を実施したが、結果が伴わず介護職員の採用が不足した。

<2023年度の事業活動総括>

- ・ケアの質を下げずに少ない人員で効率的ケアを実践するため、必要な設備を導入し、ほぼ計画通りに実践できた。収支も改善し、新棟移転の取組みも遅延なく実施した。

I. 入所者の状況

1. 月別入退所状況

(人)

	入所	退所	月末現在	延人数	1日平均
4月	3	2	79	2,364	78.8
5月	1	2	78	2,444	78.8
6月	3	3	78	2,348	78.3
7月	3	3	78	2,417	78.0
8月	3	4	77	2,403	77.5
9月	2	0	79	2,351	78.4
10月	2	3	79	2,432	78.5
11月	2	0	80	2,386	79.5
12月	2	3	79	2,446	78.9
1月	2	2	79	2,447	78.9
2月	1	2	78	2,295	82.0
3月	3	4	77	2,419	78.0
計	27	28		28,752	78.8

2. 入退所者の内訳

(人)

新規入所者 () は再入所					
内訳	自宅から	病院から	老健施設	その他	計
男	1	3 (1)	3	0	7 (1)
女	8	7 (4)	2	3	20 (4)
計	9	10 (5)	5	3	27 (5)

退所者					
内訳	死亡	長期入院	家族引取	自主退所	他の施設
男	6	1	0	0	0
女	15	6	0	0	0
計	21	7	0	0	0

3. 入所期間 (人)

期 間	男	女	計
1年未満	5	18	23
1年以上～2年未満	8	13	21
2年以上～3年未満	3	6	9
3年以上～5年未満	0	12	12
5年以上10年未満	2	7	9
10年以上～15年未満	1	2	3
15年以上～20年未満	0	0	0
20年以上	0	0	0
計	19	58	77

平均入所期間 (月)	男	29
	女	34
	計	33

4. 年齢構成 (人)

年齢階層	男	女	計	%
65歳未満	1	0	1	1.3%
65歳～69歳	0	0	0	0.0%
70歳～74歳	2	2	4	5.2%
75歳～79歳	1	1	2	2.6%
80歳～84歳	7	10	17	22.1%
85歳～89歳	4	16	20	26.0%
90歳～94歳	4	10	14	18.2%
95歳～99歳	0	16	16	20.8%
100歳以上	0	3	3	3.9%
計	19	58	77	100.0%
最年少	50	71	—	—
最高齢	92	102	—	—
平均年齢	82.5	89.9	88.1	—

5. 要介護度

種類	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
要支援	0	0	0	0.0%
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	1	2	3	3.9%
要介護3	6	9	15	19.5%
要介護4	9	28	37	48.1%
要介護5	3	19	22	28.6%
合 計	19	58	77	100.0%

※平均要介護度 4.01

6. 入所者の心身の状況

「障害老人の自立度判定基準」による

	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
J1	0	0	0	0.0%
J2	0	1	1	1.3%
A1	2	6	8	10.4%
A2	5	4	9	11.7%
B1	3	15	18	23.4%
B2	5	14	19	24.7%
C1	1	5	6	7.8%
C2	3	13	16	20.8%
未判定	0	0	0	0.0%
計	19	58	77	100.0%

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

	男	女	計	%
なし	0	0	0	0.0%
I	0	0	0	0.0%
Ⅱ a	2	1	3	3.9%
Ⅱ b	5	12	17	22.1%
Ⅲ a	2	15	17	22.1%
Ⅲ b	7	11	18	23.4%
Ⅳ	3	19	22	28.6%
M	0	0	0	0.0%
未判定	0	0	0	0.0%
計	19	58	77	100.0%

7. 面会

面会票による

面会回数	人数	%
200回以上	0	0.0%
100回以上	0	0.0%
50回～99回	2	1.9%
20回～49回	17	16.3%
10回～19回	21	20.2%
5回～9回	22	21.2%
1回～4回	32	30.8%
なし	10	9.6%
計	104	100.0%

8. 外出

外出回数	人数
20回以上	0
15回以上	0
10回以上	0
5回以上	1
5回未満	6
計	7

法人敷地内の散歩は除く

9. 外泊

年間延日数	人数	回 数	人数
50日以上	0	10回以上	0
20日～49日	16	5回～9回	0
10日～19日	16	5回未満	49
5日～9日	14		
5日未満	3		
計	49	計	49

10. 行事

年 間	行 事
4 月	お花見・ホーム喫茶
5 月	菖蒲湯・母の日ホーム喫茶
6 月	父の日ホーム喫茶
7 月	七夕ホーム喫茶
8 月	盆供養・夏祭り
9 月	お月見ホーム喫茶・敬老会
10月	運動会
11月	お茶会（ホーム喫茶）
12月	クリスマス会・ゆず湯
1 月	お正月（ホーム喫茶）
2 月	節分ホーム喫茶
3 月	ひな祭りホーム喫茶

11. グループ・余暇活動

名 称	参加者	実施日
歌の会（坂本）	—	2023年度実施なし
一緒に遊び隊	—	

12. 食事

(1) 食事形態

食 事 形 態	人数
常 食 (ごはん)	副食普通・一口 26
	副食刻み 2
軟 食 (軟飯・全 粥)	副食普通・一口 9
	副食刻み 26
	副食ミキサー 1
ミキサー食	7
一部ソフト食（ミキサー粥ソフト）	3
高カロリーゼリー食	7
計	81

※入所74名、S S 7名（2024.3.31）

(2) 食品構成による一人当たり栄養給与量

項 目	栄養基準量	実栄養給与量（平均）
エネルギー	1400 kcal	1429 kcal
蛋白質	55.0 g	58.2 g
脂質	40.0 g	42.9 g
糖質	210 g	213.1 g
無機質	カルシウム※	650 mg
	鉄	6.0 mg
	亜鉛	8.0 mg
	カリウム	2600 mg
ビタミン	A（レチノール当量）	650 μg
	B1	1.00 mg
	B2	1.10 mg
	C	85 mg

※日本人の食事摂取基準策定に基づき基準量を定める

- (3) 栄養ケア・マネジメントの実施
 - ・栄養ケア・カンファレンス 24回
 - ・利用者個人の食事摂取状況、体調、体重のスクリーニングとモニタリング
 - ・他職種と連携し、個人の状況に合わせた食事内容・補食等の検討
 - ・栄養ケア計画の作成と家族への説明
- (4) 行事を取り入れた季節感のある食事の提供
 - ・行事食12回（季節膳、敬老会、正月等）、郷土料理24回
- (5) 利用者個人の状況に配慮した食事や水分の提供等
 - ・嚥下障害：各種とろみ剤・粥用凝固剤の使用、一部ソフト食提供
 - ・水分補給：ほうじ茶、電解質飲料、コーヒー、紅茶、電解質飲料ゼリー、の提供
- (6) 給食委員会の実施（12回）
- (7) 嗜好と摂取状況の確認
 - ・嗜好調査年1回、摂取状況調査 都度
- (8) 非常食の備蓄（7日分）及びその応用
- (9) 衛生管理
 - ・食中毒及びノロウイルス感染予防のため衛生管理の実施
 - ・感染症対策における他部署と連携した衛生管理の徹底（消毒・使い捨て食器の使用等）

13. 健康管理

- (1) 健康管理
- ・診療情報提出
 - ・予防接種
 - ・与薬管理の徹底
 - ・バイタルサイン・体重測定・食事摂取状態を把握し、異常の早期発見とその対応
 - ・施設医師との連携で疾病の管理を行い安定した状態を維持（施設医師回診 3回/週 月.水.金）

◎感染症予防

- ・持ち込まない、持ち出さない意識の徹底
- ・毎月1回 感染症対策委員会
- ・施設内研修と指導
- ・発症予防、発生時の感染拡大予防（有隣病院ICTとの情報共有、対策検討）
- ・インフルエンザ及びノロウィルス対応と予防、新型コロナウイルス対策（職員の健康管理、行動の配慮等の徹底）
- ・同対策としての面会制限、入所者管理等

◎褥瘡予防

- ・医務と介護職員の連携により、褥瘡の早期発見と治療を行った

◎併設病院との連携

- ・緊急時の早期対応
- ・利用者の疾病管理としての各種検査（血液・心電図・レントゲン・CTなど）の実施
- ・尿カテーテル、在宅酸素、点滴、インシュリン注射などの処置の実施

◎看取りケア

- ・今年度は17件実施し現場職員も冷静に対応できるようになってきた。これまで以上に利用者や家族に寄り添ったケアの提供を目指す

(2) 診察 (健診)

嘱託医（内科）、協力病院（有隣病院）										計	他医療機関								計
診療科目	内科	神経内科	外科	整形	眼科	精神科	皮膚科	形成	泌尿器		内科	整形	循環	脳外	耳鼻科	歯科	眼科		
受診日等	週3回と必要時	週1回	週1回	週4回	週1回	週1回	週2回	週1回	隔週		必要時								
実人数	104	6	3	18	0	83	36	27	5		282	0	0	0	0	3	53	9	
延人数	2,045	29	8	34	0	334	108	100	46	2,704	0	0	0	0	6	1,106	44	1,156	

(3) 新規入所者の病名

病 名	人数	病 名	人数	病 名	人数	病 名	人数
認知症（アルツハイマー、レビー含む）	8	糖尿病	2	腰椎圧迫骨折	1	脳梗塞	2
COPD	0	肺血栓塞栓症	1	リウマチ	0	うつ病	1
心不全	3	パーキンソン病	1	神経細胞核内封入体病	1	非骨傷性頸髄損傷	1
大腿骨骨折後	2	誤嚥性肺炎	2	廃用症候群	1	慢性硬膜下血腫	1

(4) 入院、退院の状況

[illegible]

(5) 入院時の病名

主病名	男	女	計
肺炎（誤嚥性肺炎含む）	6	4	10
高ナトリウム血症	0	1	1
心不全	0	1	1
大腿骨頸部骨折	0	2	2
痙攣発作	1	0	1
尿路感染症	0	1	1
イレウス	0	1	1
脳梗塞	0	0	0
DIC	0	1	1
胆のう炎	3	0	3
吐血	0	1	1
ステント交換	1	0	1
ペースメーカー交換	1	0	1
コロナ	8	16	24
計	20	28	48

(6) 死亡原因（在籍中の死亡退所者）

病名	男	女	計
老衰	1	5	6
肺炎	3	0	3
心不全	1	4	5
DIC	0	2	2
経口摂取困難	1	4	5
計	6	15	21
（看取りケア）	－(4)	－(13)	(17)

Ⅱ．地域交流

1. ボランティア受入

ボランティア	延べ人数	活動内容
個人	97	歌の会・洗濯物たたみ
グループ	15	演奏会
合 計	112	

2. 訪問

所属名称	延べ人数
恵泉女学園クリスマス訪問	8
合 計	8

3. 実習、研修受入

学校、団体等名称	延日数
東京医療学院大学	33
計	33

4. 体験学習

学校、団体等名称	延人数
船橋希望中学校	4
計	4

5. 見学等

名 称	延人数
個人	32
団体	0
計	32

6. 職業講和

船橋希望中学校に訪問し認知症高齢者や障害者とのコミュニケーション取り方、福祉機器の取り扱い等について講和を実施。

Ⅲ．ショートステイ事業

1. 月別実施状況

	利用者数			延利用 床数	契約 床数	利用率 %	1日平均 利用者数
	男	女	計				
4月	6	22	28	267	300	89.00%	8.90
5月	5	23	28	306	310	98.71%	9.87
6月	6	23	29	256	300	85.33%	8.53
7月	6	19	25	278	310	89.68%	8.97
8月	7	20	27	322	310	103.87%	10.39
9月	6	20	26	297	300	99.00%	9.90
10月	7	23	30	311	310	100.32%	10.03
11月	8	20	28	248	300	82.67%	8.27
12月	7	20	27	276	310	89.03%	8.90
1月	7	24	31	306	310	98.71%	9.87
2月	4	12	16	139	280	49.64%	4.96
3月	7	17	24	245	310	79.03%	7.90
年間計	76	243	319	3,251	3,650	89.07%	8.91

IV. 研修、会議

1. 会議

会 議 名	実施回数	備 考
入所検討委員会	12	入所対象候補者の検討について
ケアカンファレンス	24	ケアプランの立案、見直し
幹部会議	20	幹部職員による総合的な全体会議
生活向上委員会	12	排泄、入浴、リハビリ、施設環境美化、リネン関係などの複合的な検討
褥瘡委員会	12	褥瘡予防について
衛生委員会	12	職場環境（安全と衛生等）について
広報委員会	8	広報誌作成等
感染症対策委員会	11	感染症の防止について
省エネ委員会	12	節電による経費の削減について
リスクマネジメント委員会	20	事故防止対策について
虐待・身体拘束・接遇向上	11	拘束防止・虐待防止について
人権委員会	11	拘束・虐待・認知症個別ケアについて
給食委員会	12	食事環境の整備について
OJT・研修委員会	12	全職員のスキルアップのための研修等の計画、検討
職員会	8	職員の意見交換
災害対策委員会	12	防災と災害対策について
法人BCP会議	12	法人BCP、消防、避難訓練計画策定
ICT検討委員会	9	ICT機器の評価、業務オペレーション検討
行事委員会	9	行事・クラブ活動・レクリエーションの充実

2. 職場内研修 第2有隣ホーム、有隣ケアセンター、一部合同企画

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数
イーケアラボ（web研修）	4/1～3/31	—	全職員
感染症対策研修（基礎研修）	11/30	1	17
感染症対策研修（実地研修）	12/20、12/30、1/10	3	8
虐待ゼロを目指す！虐待防止研修（外部講師）	2/26	1	10

3. 施設外研修

認知症ケア研修（認知症の理解）	介護職員
外国人介護職員向け実践者研修	介護職員
介護福祉士実務者研修	介護職員
介護支援専門員実務研修	介護職員
福祉職員職務階層別研修チームリーダー研修	介護職員
モルテンオンラインセミナー（褥瘡対策、ポジショニング）	介護職員
次世代介護機器導入前セミナー	介護・事務
次世代介護機器導入アドバンストセミナー 公開見学会	介護・事務
災害対策研修～事業継続計画（BCP）～	災害委員
高齢者虐待防止研修	施設長
食支援（栄養・調理）研修「高齢者の血糖値に気をつける調理と工夫」	管理栄養士
介護職員スキルアップ研修【医療的知識編】	介護職員
管理栄養士研修【対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応】	管理栄養士
管理栄養士研修【対象者の目の前で 適宜おこなう手元調整】	管理栄養士
管理栄養士研修【家で施設で調理展開で最期まで食べるを支える】	管理栄養士
管理栄養士研修【最新の嚥下食の知識と明日から運用について】	管理栄養士
生活相談員連絡会	相談員
生産性向上セミナー	介護職員
高齢者虐待防止研修（施設居住系サービス向け）	介護職員
高齢者虐待防止研修（居宅系サービス向け）	介護職員
高齢者権利擁護推進研修事業「施設内リーダー職員研修（看護実務者研修）」	看護職員
ユニットケア管理者研修	施設長
ユニットケアリーダー研修	介護職員
介護技術研修「指導者が学ぶ技術研修」	介護職員
恵泉女学園クリスマス勉強会	介護職員
世田谷区福祉避難所講演会	事務

V. 職員構成

職 種	運営規程に基づく配置数	常勤職員						非常勤職員					
		今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者	今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者
				入	出					入	出		
施設長	1	1					1						
生活相談員	1	2 (1)					2 (1)	1					1
医師	1							1					1
機能訓練指導員	1	1					1	1					1
看護職員	3	3				1	2	5	1			1	5
介護職員	30	28 (2)	1			1	28 (2)	6	2			2	6
(内 介護福祉士		(24)	(1)			(1)	24	(3)				(1)	(2)
介護支援専門員	1	(3)					(3)						
事務員		2					2	1					1
栄養士	1	4	1				5						
調理員		1				1		9					9
宿直員								1				1	
日直員								2					2
その他								1					1
用務員								(委託)					(委託)
計(実人数)	39	42	2			3	41	28	3			4	27

※退職者には年度末退職者を含む () 内は兼務職員数
※次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢＝43.642歳、平均勤続年数＝8.252年
非常勤の平均年齢＝54.788歳、平均勤続年数＝5.749年
年度末退職者
常勤 1 名 非常勤 1 名

VI. 防災対策 防災訓練（第2有隣ホーム・有隣ケアセンター）

月別	訓 練 内 容	消防署の 出向指導	参加者数	
			職 員	利用者
2023年4月	自衛消防訓練	なし	8	－
2023年7月～	東京消防庁 ネットで自衛消防訓練	なし	26	－
2023年7月	地震訓練（初動訓練）	なし	22	複数名
2023年9月	法人内合同自衛消防訓練	あり	8	－
2023年10月	地震訓練（初動訓練）	あり	30	複数名
2024年2月	災害机上訓練・福祉避難所	なし	4	－
2024年3月	地震訓練（初動訓練）	なし	26	複数名

VII. 施設・設備整備

項目	金 額
入浴機器 ピュアット	1,604,350円
見守り機器システム (Alviewlife)	56,549,130円
入浴機器 ミストシャワー浴槽	4,593,600円
	円
	円

2023年度 有隣ケアセンター事業報告書

中長期計画および2023度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

中長期計画

- (1) 収支改善
 - ・稼働率の回復と業務改善、費用の見直しをした結果、約1100万円の収支改善をした。
- (2) 法人各施設との連携強化
 - ・有隣病院より理学療法士の出向が週3回あり、法人内で連携を図れた。これにより、有隣病院退院後の利用者に対し、継続的な訓練計画を実施できるようになった。
- (3) 人材の育成、介護現場の業務改善
 - ・新人の育成強化を目指し、OJTの取組みをチームで行った。
 - ・利用中の衣服汚染について、洗濯方法等の対応を見直し、業務時間短縮を図った。
- (4) 防災・事故等の対策徹底
 - ・特養と協力し、BCPを完成させた。訓練として利用者参加の地震訓練を3回実施した。介護事故について、職員間で事故対策を協議し、振り返りも行い、再発防止に努めた。
- (5) ボランティア、地域との交流回復
 - ・コロナが5類に移行したことで、ボランティアの受け入れを本格的に再開した。地域との交流は、事業所への訪問受け入れが再開した事により活性化した。
- (6) 建物改築対策
 - ・有隣ホーム1階への移転が決定し、改修工事等の計画を有隣ホームと協働で進めた。

年度計画

サービス計画

- 1、利用サービスの向上
 - (1) 利用者の重度化に対応するため介護リフトや移乗ボード、シートを活用し、利用者ニーズに沿ったケアの提供を実践した。
 - (2) 常に更新されていく個別ニーズの把握と情報共有を徹底した。
- 2、送迎
 - (1) 運行ルートの見直しは適宜実施し効率化に努めた。
 - (2) 送迎中の事故が2件発生。全職員で原因を追究し再発防止策の徹底をした。
 - (3) 車両の老朽化に伴い車両を1台買い換えたが、中古車両とすることで費用を抑えた。
- 3、健康管理
 - (1) コロナが5類に移行したが、基本的な感染症対策は変更せず続行した。
 - (2) 家族、ケアマネとの情報交換を密に行い、適切な健康管理ができるよう徹底した。
- 4、機能訓練・アクティビティ活動
 - (1) 理学療法士が定期的に利用者や家族から情報収集を行い、自宅での動線を考慮した訓練計画を作成し機能訓練を実施した。
 - (2) レクリエーションの一環として実施しているシナプソロジーの充実を図るため、「シナプの日」を設け、定期的にバリエーションを増やした。
 - (3) アクティビティ活動は、制約を逡減させ、ボランティアを交えて行うことができた。
- 5、地域との交流
 - (1) 有隣病院と連携し、自治会主催のイベントに参加した。
 - (2) インスタグラムを頻繁に更新し、広報活動を行った。
- 6、給食管理
 - (1) 安全で栄養バランスのとれた食事を、個々の身体状態に合わせた形態で提供した。
 - (2) 管理栄養士と連携し、おやつ作り等の行事を隔月で実施した。
- 7、介護予防・日常生活支援総合事業
 - (1) 介護報酬が少ないため敬遠されがちな要支援者の受け入れを積極的に行った。
 - (2) 他事業所で断られがちな困難事例に対し可能な限り受け入れをし、通所することで外出の機会を確保する取り組みをした。

別館移転準備

- (1) 移転先の決定が遅れた為、家族説明会は実施できず。来年度の実施予定とした。
- (2) 移転に向けて法人内施設と必要な協議を行い、連携を図った。
- (3) 移転先に必要な一部設備の選定をし早期に決定をした。改修工事と合わせて、物品の配置や運用面の検討を実施した。
- (4) リハビリ強化の為、理学療法士の採用をしたが、定着には至らず。有隣病院のリハビリ職員との連携については強化された。

危機管理

1、防災計画・事故対策

- (1) 有隣病院ICTの助言を得ながら、感染拡大防止の対策を講じた。
- (2) 法人内BCP会議を毎月参加した。9月には法人全体で自衛消防訓練に参加した。
- (3) 福祉避難所設営について特養と情報共有をし、協力体制を調整した。
- (4) 感染症・災害についてのBCPの見直しを行い、次年度の訓練に向けた準備を行った。

2、防犯計画

セコムの警備を活用し、防犯対策に努めた。

職員計画

- (1) イーケアラボ（WEB動画）研修にて法定研修を受講し、スキルアップに努めた。
- (2) ICTリテラシー教育、キャリア段位、研究発表会の取組みは体制不足により休止した。

＜2023年度事業活動総括＞

コロナ感染症が5類になったものの未だ利用控えの傾向が続き、稼働率回復に苦労したが、延べ利用者数を年間で1060名増加し、前年度より約1100万円の収益改善をした。
また、増加するリハビリ希望者に対応するため、有隣病院リハビリ職員との業務連携を実現した。

I. 介護保険 通所介護・介護予防通所介護

1. 通所介護（要介護）、月別利用者状況

要介護別・加算等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
通介 要介護1	利用者数	58	78	64	51	49	52	49	43	40	42	47	60	633	9.6%
通介 要介護2	同上	68	71	75	66	68	60	75	70	85	82	85	100	905	13.8%
通介 要介護3	同上	198	215	217	226	208	249	225	233	231	201	156	155	2,514	38.2%
通介 要介護4	同上	140	123	104	104	115	97	103	109	118	106	123	108	1,350	20.5%
通介 要介護5	同上	53	75	72	72	101	95	109	115	111	113	133	130	1,179	17.9%
個別機能訓練加算	同上	365	425	380	416	417	412	410	425	427	382	347	414	4,820	73.2%
特別入浴加算	同上	152	179	164	157	160	162	165	182	174	159	167	167	1,988	30.2%
介助入浴加算	同上	185	177	182	174	180	187	189	189	191	174	181	181	2,190	33.3%
入浴合計	同上	337	356	346	331	340	349	354	371	365	333	348	348	4,178	63.5%
のべ利用者数		517	562	532	519	541	553	561	570	585	544	544	553	6,581	100.0%
実施日数		25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309	
1日平均利用者数		20.7	20.8	20.5	20.0	20.0	21.3	21.6	21.9	23.4	22.7	21.8	21.3	21.3	

2. 介護予防通所介護（要支援）、月別利用状況

要介護別・加算等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
介予 要支援1	利用者数	0	0	0	0	0	0	2	5	4	3	4	4	22	0.0%
介予 要支援2	同上	8	9	9	9	7	9	7	5	9	8	8	9	97	100.0%
運動器機能向上加算	225単位	4	4	5	7	4	7	8	10	12	11	12	13	97	100.0%
延べ利用者数		8	9	9	9	7	9	9	10	13	11	12	13	119	100.0%
実施日数		25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309	
1日平均利用者数		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	

3. 通所介護（要介護）＋介護予防通所介護（要支援）の合計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
実施日数		25	27	26	26	27	26	26	26	25	24	25	26	309
合計のべ利用者数		525	571	541	528	548	562	570	580	598	555	556	566	6,700
1日平均利用者数		21.0	21.1	20.8	20.3	20.3	21.6	21.9	22.3	23.9	23.1	22.2	21.8	21.7

平均利用者数 R05 年度 21.7 人 R04 年度 18.3 人 R03 年度 18.0 人

延べ利用者数 R05 年度 6,700 人 R04 年度 5,643 人 R03 年度 5,550 人

年間営業日数 R05 年度 309 日 R04 年度 309 日 R03 年度 309 日

4. 年齢構成（介護予防通所介護＝要支援、通所介護＝要介護） 3月末

	年齢	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	合計
要支援	男									1			1
	女							1		1			2
	小計							1		2			3
要介護	男		1		1	3	5	6	13	7			36
	女			1		2	1	7	12	11	7		41
	小計		1	1	1	5	6	13	25	18	7		77
総合計	男		1		1	3	5	6	13	8			37
	女			1		2	1	8	12	12	7		43
	合計		1	1	1	5	6	14	25	20	7		80

平均年齢 男 83.1 女 87.4 計 85.4

5. 登録者の推移

	前年度末	新規登録者	認定変更	今年度合計	廃止	認定変更	年度末登録者
要支援	2	3	介護→支援	5	1	支援→介護	3
要介護	68	35	支援→介護	103	27	介護→支援	77
合計	70	38	0	108	28	0	80

6. 廃止理由

要介護+要支援

長期入院	施設入所	重度化	他施設	死亡	転居	その他	合計
1	15	1	3	3	0	7	30

7. 1週間あたりの個別の通所回数、3月末

	週に1回	週に2回	週に3回	週に4回	週に5回	週に6回	不定期6回	計
要支援1								
要支援2	2							2
要介護1	3	5	1					9
要介護2	7	5			1			13
要介護3	7	5	4	1	1	1		19
要介護4	5	8	2					15
要介護5	4	1	1			1		7
合 計	28	24	8	1	2	2		65

II. 地域交流

1. ボランティア受入れ

ボランティア	人数	活動内容
個人	84	傾聴・お茶出し・歌の会
きりの会	4	楽器演奏
ちとにこダンスクラブ	14	演目
計	102	

2. 訪問

	人数	内容
こども文化村	13	寸劇
恵泉女学園	11	歌
計	24	

3. 実習受入

学校、団体等名称	延日数
東京医療学院大学	36
計	36

4. 体験学習

今年度受け入れなし

5. 見学等

名称	人数
個人	38
団体	0
計	38

III. 研修

1. 施設内研修 第2有隣ホーム、有隣ケアセンター、合同企画

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数
イーケアラボ (web研修)	4/1～3/31	一	全職員
事業計画・個人目標設定説明	4月		常勤職員全体
コロナ感染症 発症想定訓練	12/13、12/29	2	6

2. 施設外

研 修 内 容	日 程	回 数	参加人数
今後の総合事業について考える	10/15	1	1

IV. 会議

会 議 名	実施回数	備 考
衛生委員会	7	職場環境（安全と衛生等）について
広報委員会	7	広報誌作成等
感染症対策委員会	2	感染症の防止について
省エネ委員会	3	節電による経費の削減について
リスクマネジメント委員会	11	事故防止対策について
虐待・身体拘束・接遇向上	2	拘束防止・虐待防止について
人権委員会	2	拘束・虐待・認知症個別ケアについて
給食委員会	1	食事環境の整備について
業務改善会議	12	業務改善・行事・食事提供関連について
職員会	3	職員の意見交換
災害対策委員会	3	防災と災害対策について
ICT本部会議	20	法人内感染症対策について

V. 防災対策 防災訓練

月別	訓 練 内 容	消防署の 出向指導	参加者数	
			職 員	利用者
2023年7月	地震訓練（初動訓練）	なし	6	複数名
2023年9月	法人内合同自衛消防訓練	あり	1	—
2023年10月	地震訓練（初動訓練）	なし	6	複数名
2024年3月	121	なし	6	複数名

VI. 職員構成

職種	常勤職員						非常勤職員					
	今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者	今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者
			入	出					入	出		
所長	1 (1)					1 (1)						
生活相談員	3 (3)					3 (3)						
機能訓練指導員							1	2			2	1
介護職員	5 (2)					5 (2)	2	2			1	3
送迎専任ドライバー							1	3			3	1
その他												
計（実人数）	6					6	4	5			4	5

※事務員・管理栄養士は特養と兼務 () 内は兼務職員数

※機能訓練指導員の一部及び看護職員は特養から随時派遣

※退職者には年度末退職者を含む

※次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢＝53.465歳、平均勤続年数＝15.558年

非常勤の平均年＝62.956歳、平均勤続年数＝9.652年

年度末退職者

常勤 0 名 非常勤 2 名

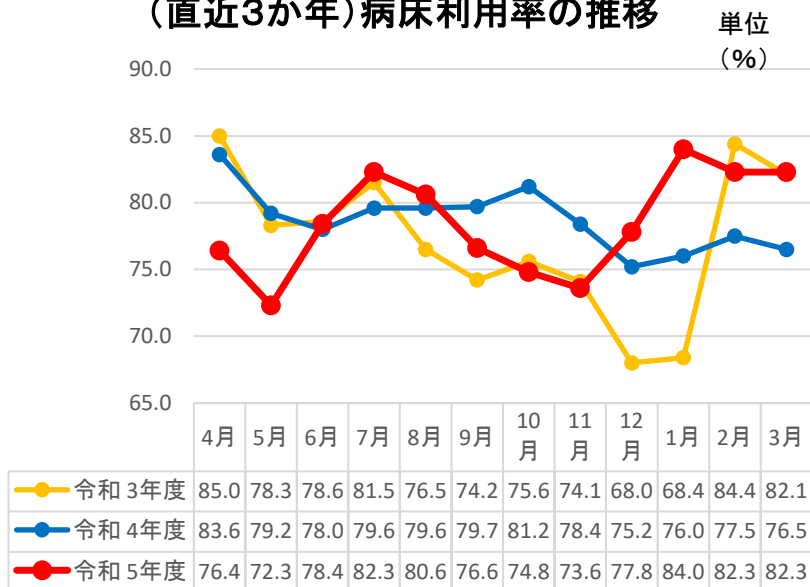
2023年度 有隣病院 活動の概要

【入 院】

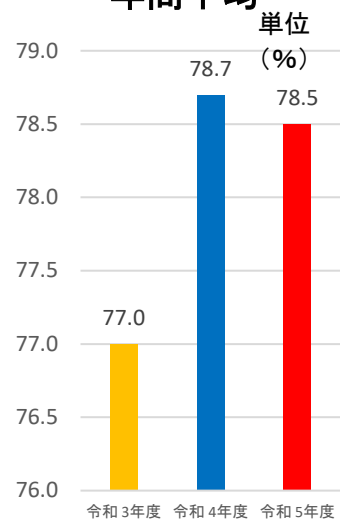
《病床稼働》

■当年度は、前年度末からの新型コロナウイルス集団感染による病床稼働低迷の影響を当初から受けた。また、A2病棟廃止により、一般病棟であるB2病棟の回転（入出棟）が滞り「平均在院日数」の施設基準要件である60日以内を維持することが困難となったことから、現状の病棟回転に即した在院患者数に落とさざるを得ず、やはり病床稼働が低下する要因となった。その中でも、7月までは回りハ病棟を中心に病床稼働は回復していたが、再び新型コロナウイルス集団感染が発生。受入制限等により11月まで影響が長引いた。12月以降、藤田院長の指導の下、職員一丸となり患者受入増へ最大限注力、その効果により、現在は予算計画を超える病床稼働を維持している。

（直近3か年）病床利用率の推移



病床利用率
年間平均

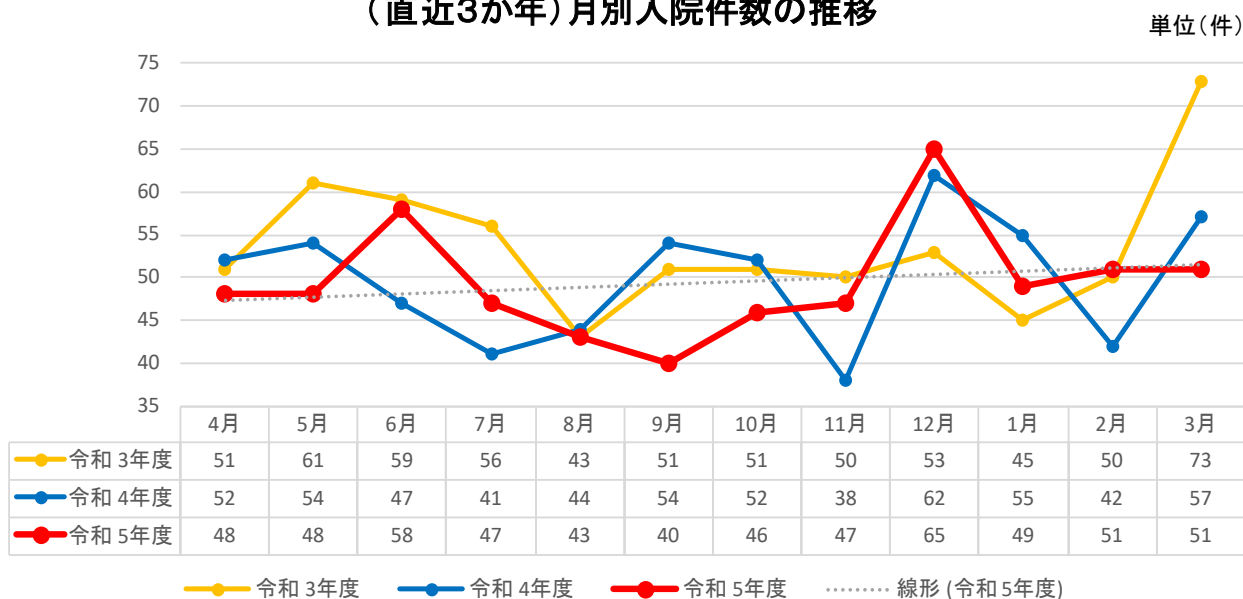


注) 令和3年度の2～3月は、定床数199名で病床利用率を算出。

《入院件数》

■新型コロナウイルスの集団感染が確認された7月より減少傾向となり、11月までその影響が続いた。12月に最大限の注力で急速に病床稼働を回復、上昇させた成果がグラフ上にも表れる。

（直近3か年）月別入院件数の推移

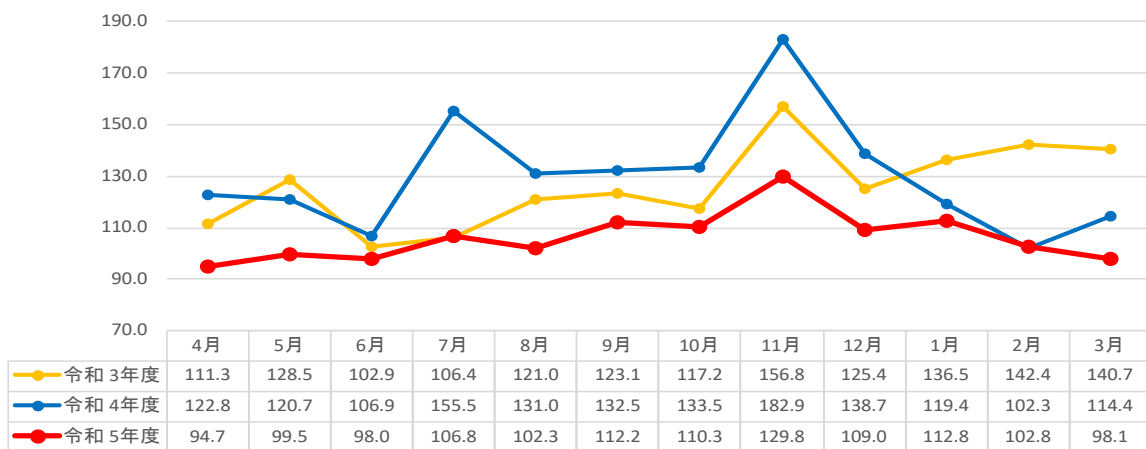


【外 来】

■当年度も新型コロナウイルス感染症の流行期はあったが、変異によるウイルスの感染力低下もあり、前年度ほどの受診状況は見受けず。しかし、最低限となる目標の平均 100 人以上／日は示した。

(直近3か年)外来1日平均患者数の推移

単位(人)



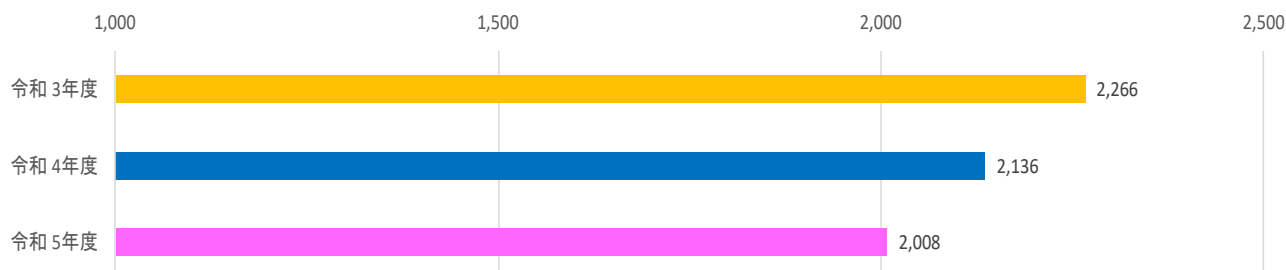
注) 併設両施設入居者の受診者数を含む。

【医業収益及び損益】

■12月以降、回りハ病棟は予算計画と同等以上の病床稼働を維持できるまで挽回したが、年間を通じて、回りハ病棟における11月までの新型コロナウイルス集団感染が、一般病棟では「平均在院日数」維持のための病床稼働調整が大きく影響して、医業収益の確保が伸び悩んだ。一方の支出は、節減に努めたものの、物価や光熱費の高騰及び仮設厨房棟の減価償却費による支出が上回り、累積赤字の要因となった。

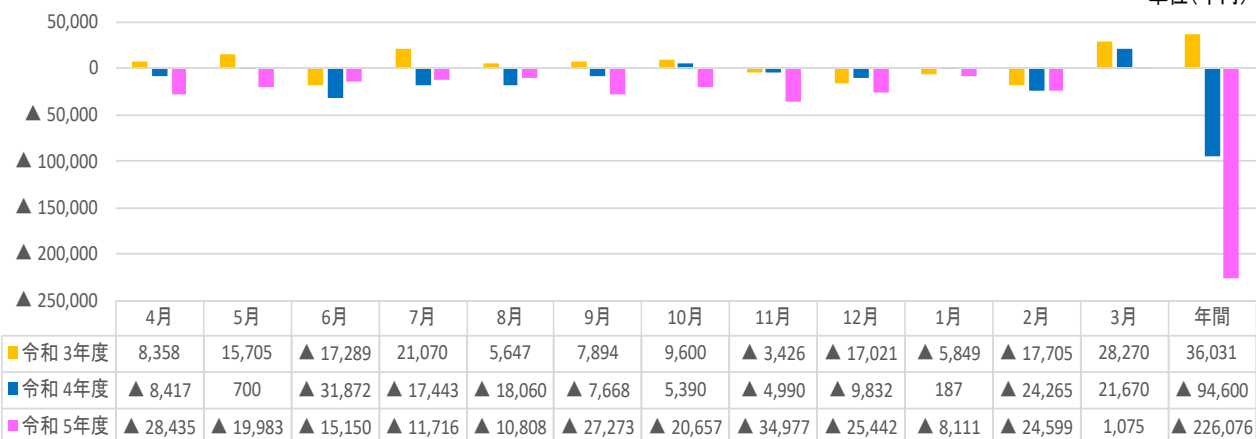
(直近3か年)年間医業収益比較

単位(百万円)



(直近3か年)月次損益の推移

単位(千円)



単位(名)

外来・入院
診療実績

	外 来			入 院			
	医 科	歯 科	計	一般病棟	療養病棟	回復リハ病棟	計
年間延べ患者	25,430	116	25,546	12,587	17,599	26,960	57,146
前年度	31,709	4,418	36,127	13,835	16,982	26,356	57,173
月平均	2,119	29	8,515	1,049	1,467	2,247	4,763
1日あたり	104.7	14.5	105.1	34.5	48.2	73.9	156.6
前年度	130.5	18.2	148.7	37.9	46.5	72.2	156.6

入退院と
在院日数

入退院(一般その他間転入転出)と在院日数										
		一般病棟		療養病棟		回復期リハ病棟		計	対前年差異	対前々年差異
新入院	転入)	239名	(24名)	4名	(87名)	350名	(28名)	732名	6名増	87名減
退 院	転出)	150名	(115名)	80名	(10名)	349名	(14名)	718名	22名減	155名減
平均在院日数		47.7日		194.5日		72.8日		78.8日	※平均在院日数	
2年度／元年度		498日／41.1日		1742日／1042日		73.7日／76.1日		780日／67.6日	延べ入院患者数÷	
病床回転率		7.7回		1.9回		5.0回		4.6回	(新入院・転入数÷退院・転出数)÷2	
前年度		7.3回		2.1回		5.0回		4.7回		

入院経路
と退院先

新入院(名)							退院(名)					
年齢区分	患 者 数			入院経路別内訳			入院から退院までの期間	自宅退院	転院等	施設へ	死亡	計
	男	女	計	外来他	転入院	施設から						
1か月未満	5	3	8	5	3	0	1か月未満	42	37	31	21	131
1か月以上～3か月未満	18	3	21	10	11	0	1か月以上～3か月未満	169	82	13	22	286
3か月～6か月	24	16	40	3	37	0	3か月～6か月	33	44	5	25	107
6か月～9か月	69	44	113	14	96	3	6か月～9か月	0	8	2	12	22
9か月～12か月	101	168	269	30	215	24	9か月～12か月	1	15	0	4	20
12か月～15か月	45	97	142	8	116	18	12か月～15か月	0	6	0	3	9
15か月～18か月	262	331	593	70	478	45	15か月～18か月	0	1	0	1	2
18か月～24か月							18か月～24か月	0	1	0	0	1
24か月以上							24か月以上	0	1	0	0	1
計							計	245	195	51	88	579
平均入院期間							平均入院期間	67.2	119.5	43.2	142.8	90.0
4年度	260	338	598	60	487	51	4年度	65.2	145.9	41.1	115.1	109.9
3年度	261	382	643	65	507	71	3年度	67.3	203.0	76.0	130.3	110.1

※「施設から(へ)」は、有隣(第2有隣)ホーム、芦花ホームを示す。
※退院の「転院等」は、他の特養及び老人保健施設入所を含む。

診療費の
行為別内訳
(1人1日当)

医 科	医 科	年	診察料	投 薬	注 射	処 置	手 術	検 査	画像診断	リハビリ	計
外 来	外 来	3年度	1,009	80	1,228	40	28	1,304	299	380	4,366
		4年度	1,316	195	1,218	41	20	1,759	284	416	5,249
		5年度	1,305	609	1,386	45	37	1,407	356	531	5,675

(円)

入 院	入 院	年	入院基本料 食事療養費	診 療 料									合 計
				投 薬	注 射	処 置	手術輸血	検 査	画像診断	リハビリ	診察料	計	
一 般 病 棟	一 般 病 棟	3年度	15,130	295	1,816	1,061	75	887	334	1,668	33	6,170	21,299
		4年度	17,558	373	1,849	856	54	908	245	1,557	30	5,873	23,431
		5年度	15,171	265	2,459	1,070	52	1,011	323	1,712	31	6,924	22,095

療 養 病 棟	療 養 病 棟	3年度	18,108	3	0	408	2	42	46	325	2	828	18,937
		4年度	18,915	16	0	379	2	136	30	399	1	965	19,880
		5年度	18,198	3	0	252	15	16	33	321	0	639	18,941

回 復 リ ハ	回 復 リ ハ	3年度	25,508	75	0	1	1	194	4	15,780	0	16,056	41,565
		4年度	27,371	92	10	0	0	269	5	14,931	0	15,307	42,679
		5年度	25,661	141	1	0	0	70	3	15,184	0	15,399	41,938

投 薬
薬剤管理

	年間計				1日当				投薬・注射・処置の年間合計診療報酬(点)	
	処方箋枚数	(前年度)	調剤件数	(前年度)	枚	(前年度)	件	(前年度)	処方技術料	薬剤料
入 院	15,159	14,931	28,975	28,183	51.2	50.4	97.9	95.2	72,548	3,072,288
外 来	1,973	1,840	3,474	2,807	6.7	6	11.7	6.2	126,153	5,051,344
院外処方	0	0			0	0				
計	17,132	16,771	32,449	30,990	57.9	56.6	109.6	101	198,701	8,123,632
◇薬剤管理指導料 361件 ◇薬剤情報提供料 1980件 ◇退院時薬剤情報管理指導料 38件 ◇無菌製剤処理加算(VH) 2299件										

検 査

入院外来計	上部内視鏡	下部内視鏡	超音波	その他 生理機能	生化学	血液	血清	細菌	尿	病理	特殊検査	PCR検査	計	「検査」全体の 診療報酬(点)
3年度	233	50	305	3,952	6,009	5,378	182	643	3,668	48	208	5,053	25,729	5,964,711
4年度	210	43	327	2,830	5,172	5,048	105	540	2,680	30	283	7,088	24,356	7,802,349
5年度	226	50	285	2,884	4,297	5,709	119	1,057	2,787	30	153	2,690	20,287	5,155,464
1ヶ月当り	19	4	24	240	358	476	10	88	232	3	13	224	1,691	429,622
1日当り	0.6	0.1	0.8	7.9	11.7	15.6	0.3	2.9	7.6	0.1	0.4	7.3	55.4	14,086

画像診断

	一般・レントゲン撮影		造影剤撮影		CT		計(健診含まず)		診療報酬(点) (健診等含まず)
	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	
3年度	5,728	8,323	92	139	1,497	0	7,317	8,462	1,565,859
4年度	5,516	8,191	109	148	1,401	0	7,026	8,339	1,309,341
5年度	5,646	8,364	151	192	1,388	0	7,185	8,556	1,398,714
1日当り	23.2	34.4	0.6	0.8	5.7	0.0	29.6	35.2	5,756.0
入院	2,446	2,989	102	102	836	0	3,384	3,091	475,892
外来	3,200	5,375	49	90	552	0	3,801	5,465	922,822

フィルムレス化のCT枚数は、0となります。(画像管理加算算定)

リハビリ
テーション

	外 来			入 院			計			
	実患者数	年間単位数	1日当	実患者数	年間単位数	1日当	実患者数	年間単位数	1日当	PT・OT・ST
	名	単位	単位	名	単位	単位	名	単位	単位	1人1日当
理学療法	7	108	0.30	551	130,496	357.5	558	130,604	357.8	15.9
作業療法	3	27	0.1	506	48,221	132.1	509	48,248	132.2	15.8
言語療法	3	44	0.1	282	27,037	74.1	285	27,081	74.2	16.5
計	13	179	0.5	1,339	205,754	563.7	1,352	205,933	564.2	16.0
診療報酬	年間総点数 38,925			年間総点数 43,815,560			年間総点数 43,854,485			

訪問リハ

	5 年度			前年度			増減		
	実件数	年間単位数	1日当	実件数	年間単位数	1日当	実件数	年間単位数	1日当
	件	単位	単位	件	単位	単位	件	単位	単位
訪問リハビリ	844	2,938,185	8,027.8	859	3,034,910	8,314.8	15 減	96,725 減	287 減
介護報酬	29,381,850円			30,349,100円			967,250円 減		

保健予防
活動

	件数	(前年度)	受託料	(前年度)	備 考
特定健康診査	714	700	11,923,955	11,175,624	
区胃肺乳癌検診	1,844	1,956	12,129,677	12,942,046	胃がん内視鏡、大腸がん検診含む
区骨粗鬆症検診	16	13	81,664	66,352	
区肝炎ウイルス	31	30	162,455	134,979	
都原爆検診	13	16	167,084	314,253	
その他個人健診	478	950	5,728,054	6,098,659	季節性インフルエンザ予防接種、肺炎球菌ワクチン
事業所健康診断	338	350	3,483,519	3,568,786	事業所数26社
施設職員定期健診	320	338	2,124,140	2,211,900	有隣ホーム等職員健診、定期便検査等、施設職員採用時健診含む
施設入所時健診等	495	459	1,025,469	970,784	入所時検診、定期便検査等
日帰り人間ドック	49	93	558,300	1,191,730	
特定保健指導	45	48	465,004	545,140	
計	4,343	4,953	37,849,321	39,220,253	

医療
相談室

件		件	
1) 受診の援助	306	8) 家族問題についての援助	0
2) 入院の相談受けと援助	17,868	9) 日常生活援助	41
3) 退院の援助	18,981	10) 心理・情緒面での援助	2
4) 療養上の問題についての援助	1,154	11) 医療における人権擁護	1
5) 経済上の問題についての援助	70	12) その他	5,713 (1日当)
6) 就労についての援助	7	合 計	44,159 181.7
7) 住宅についての援助	16	13) クライアント処遇会議	186

入院時
食事療養

		前年度(人)	5年度(人)	1日当	%
常食		11,074	11,923	32.7	29.3%
軟食	軟菜食	10,660	9,276	25.4	22.8%
	嚥下訓練食	1,915	2,336	6.4	5.7%
流動食		38	14	0	0.0%
特別食	糖尿病食	3,048	3,947	10.8	9.7%
	減塩食	2,877	2,101	5.8	5.2%
	胃潰瘍食	184	58	0.2	0.1%
	腎臓病食	43	159	0.4	0.4%
	胆石病食	542	782	2.1	1.9%
	経管栄養	11,577	8,909	24.4	21.9%
	その他	6	1,174	3.2	2.9%
計		41,964	40,679	111.4	100.0%

◆1日平均栄養給与与量		
純給与与量		
熱量	蛋白質	脂質エネルギー比
Kcal	g	%
1,404	61.9	29.0

栄養相談
栄養管理
委員会

◆栄養相談 (件)						
	糖尿病	脂質異常症	高血圧・心臓病	腎臓病	その他	計
入院	13	4	25	3	16	61
外来	181	17	24	1	0	223
計	194	21	49	4	16	284
◆特定保健指導 (件)				◆生活習慣病教室		
	今年度		前年度		今年度	前年度
	動機付	積極的	動機付	積極的	年合計	
初回	14	8	16	6	1回平均	0
中間	0	26	0	26		0
結果	11	8	18	4	1)開催月 ……新型コロナウイルス感染対策のため中止	
小計	25	42	34	36		
合計	67		70			
月平均	5.6		5.8			

◆栄養管理委員		
(委員7名)毎月第3木曜日×12月		
入院時食事療養の実施上の留意事項、経管栄養剤検討、科内インシデント報告、栄養指導等		
◆嗜好調査 4回(12、1、2、3月)		

無料低額
診療事業

	生保受給者の受入れ	全医療費の10%以上の減免		身障者等の受入れ	計	H3041~H31.331 延患者数	実績率	前年度
	延べ人数a	延べ人数b	減免額(円)	c	A(a~c)	B	A/B	
入院	5,845	0	0	2,128	7,973	57,146	14.0%	14.5%
外来	858	11	121,780	798	1,667	28,320	5.9%	6.5%
計	6,703	11	121,780	2,926	9,640	85,466	11.3%	11.3%
無料健康教室の開催		新型コロナウイルス感染対策予防のため、中止						

光熱水の
消費

	電力・kw/h		水道(下水料金)・m³		都市ガス m³		計	
	5年度	前年度	5年度	前年度	5年度	前年度	5年度	前年度
年間消費量	1,176,137	1,124,002	16,365	17,488	80,199	120,103		
1日当り	3,211	3,522	45	68	219	524		
消費金額(円)	32,020,061	38,580,193	10,374,152	11,616,033	7,578,834	15,222,707	49,973,047	65,418,933
1日当り	87,486	105,699	28,345	31,825	20,707	41,706	136,538	179,230

院内保育室
の運営

保育室	内、夜間	保育児童数		1)年間運営費	16886,752円
開所日数	保育日数	実人員	延べ人数	内、運営委託費	16,711,990円
283日	0日	22名	1,006名	2)利用病院職員負担金	844,300円
				3)東京都補助金	1,564,000円

職 員

	常勤職員数		非常勤	計	入院患者 100名当	常勤職員の 採用	退職		常勤職員数		非常勤	計	入院患者 100名当	常勤職員の 採用	退職
	計画	実績							計画	実績					
医師・歯科医師	12	10.9	6.5	17.4	6.4	1		歯科衛生士	2	1.0		1.0	0.4		
薬剤師	6	5.5		5.5	2	1		医療技術員助手	4	3.0		3.0	1.1		
診療放射線技師	3	3.0	0.1	3.1	1.1			ボイラー技士	3	3.0	0.3	3.3	1.2		
臨床検査技師	5	3.0	0.9	3.9	1.4			その他技能職	7	3.0	0	3.0	1.1		
理学療法士	47	44.2		44.2	16.2	8	8	クレーン	5	5.0	3.0	8.0	2.9		
作業療法士	20	16.1		16.1	5.9	1	3	事務職員	15	13.6	8.4	22.0	8	2	3
言語聴覚士	9	7.8		7.8	2.9	2	2								
医療ソーシャルワーカー	7	6.5	0.8	7.3	2.7		1	計	253	214.7	34.5	249.2	91.1	33	33
管理栄養士	3	3.0		3.0	1.1										
看護師	50	39.5	10.7	50.2	18.4	8	10	前年度	266	217.9	32.3	250.2	91.5	20	49
准看護師	15	13.9	1.4	15.3	5.6	2	3	◇派遣者(下段)を含まない。							
ケアワーカー	40	32.7	2.4	35.1	12.8	8	3	◇業務委託 寝具類貸与、給食調理、院内保育室							
◇常勤職員数は各月末在職数の平均(休職休業者を含まない)、非常勤職員は就業時間比で常勤職員に換算してあること。															

施設・設備 (固定資産) の整備	区分	室名等	項 目	型 式 等	数量	整備費 (円)
	建物基本	C棟	2.3階LAN設備ネットワークカメラ		1	363,000
			片吸込渦巻ポンプ		2	979,000
			ボイラー設備		2	16,090,140
			給湯循環ポンプ		2	5,730,340
			密閉式膨張タンク		1	2,787,070
			貯湯槽改造費		1	5,937,250
		建物（基本）計				
	器具及び備品	検査室	超音波装置MWM接続		2	880,000
		放射線科	X線TV装置MVM接続		1	440,000
			X線C T装置MWM接続		1	440,000
		内視鏡	内視鏡電子カルテ接続		1	330,000
		全館	セキュリティーフォティーゲート	FortiGate40F	1	1,082,400
			L2、L3スイッチ導入		2	444,400
		病津	体圧分散式エアーマット	テープ	8	975,200
		内視鏡	大型ポータブル吸引機	新鋭工業TAF-2000DSP	1	180,730
		リハビリ	移動式姿勢矯正鏡	ミナト医科学K3160M	1	197,120
			嚙下内視鏡システム	リプトVE2022	1	2,007,390
			嚙下内視鏡システムIPAD		1	187,770
			随意運動介助型電気刺激装置	OG技研アイビスGD-611	1	483,450
器具及び備品計					7,648,460	
栄養科		栄養管理システム	パインシステム	1	1,127,500	
看護部		看護勤務管理システム	ナースエイド	1	122,353	
		看護勤務管理システム	ナースエイド	1	1,468,500	
リハビリ		リハビリシステム	タック	1	591,394	
		介護システム	寿	1	591,393	
ソフトウェア計					3,901,140	
固定資産整備費合計					17,486,850	
	病棟	電動ベッド53台	パラマウントベッド: エスパニア	53	8,939,040	
ファイナンスリース計					8,939,040	

新棟建設 仮勘定		電子カルテシステム整備		102,300,000
		電子カルテシステム・パソコン		18,004,250
		新棟建設工事費		1,245,087,580
		新棟建設工事管理業務契約		11,000,000
		処方注射解析システム		5,674,570
		医事会計システム		20,900,000
		新棟建設中間検査手数料		270,000
	建設仮勘定合計			